【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年2月17日(2022.2.17)

【公開番号】特開2021-65715(P2021-65715A)
【公開日】令和3年4月30日(2021.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2021-020
【出願番号】特願2020-213739(P2020-213739)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和4年2月8日(2022.2.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の基板が搭載された遊技盤を有する遊技機であって、
前記遊技盤は、遊技の進行に関する複数のメイン側基板を備え、
前記メイン側基板として、
実装された部品を特定可能な部品番号が記された表示部を有する第１のメイン側基板と、
前記第１のメイン側基板とは異なる第２のメイン側基板と、を有し、
前記第２のメイン側基板は、前記第１のメイン側基板よりも遊技者に近い位置に設けられるものであり、前記表示部を基板両面のいずれにも設けないように構成されており、
前記第２のメイン側基板の表面には第１部品が実装され、前記第２のメイン側基板の裏面には第２部品が実装される
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
従来より、シルク印刷で部品番号等が示される基板を備える遊技機が提案されている（例えば、特許文献１）。基板は、所定色のレジスト液が塗布されることで高反射率とする装飾性を高めるものもある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２００６－１４１６８３号公報（段落［００４７］、段落［００４８

］、及び図３）
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
しかしながら、シルク印刷より、基板の回路の構成が推察されて基板の回路が不正に改変されるという不正行為が行われるおそれがあった。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、不正対策を講じることができる遊技機を提供することにある。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
　本発明は、
　複数の基板が搭載された遊技盤を有する遊技機であって、
　前記遊技盤は、遊技の進行に関する複数のメイン側基板を備え、
　前記メイン側基板として、
　実装された部品を特定可能な部品番号が記された表示部を有する第１のメイン側基板と、
　前記第１のメイン側基板とは異なる第２のメイン側基板と、を有し、
　前記第２のメイン側基板は、前記第１のメイン側基板よりも遊技者に近い位置に設けられるものであり、前記表示部を基板両面のいずれにも設けないように構成されており、
　前記第２のメイン側基板の表面には第１部品が実装され、前記第２のメイン側基板の裏面には第２部品が実装される
ことを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本発明の遊技機においては、不正対策を講じることができる。